

■優駿スプリント（SII）アラカルト（過去全 14 回の分析）

※第 1 回（平成 23 年）から第 4 回（平成 26 年）までは SIII として実施

※記録は令和 7 年 7 月 3 日時点

■上位人気馬の好走率はそれほど高くない

単勝 1 番人気馬は 3 勝、2 着 3 回、3 着 1 回で、3 着内率が 50.0%、単勝 2 番人気馬は 4 勝、2 着 4 回、3 着 0 回で、3 着内率が 57.1%、単勝 3 番人気馬は 2 勝、2 着 1 回、3 着 2 回で、3 着内率が 35.7%となっている。単勝 4 番人気以下の伏兵にもしっかり注目しておきたいレースだ。

■3 番人気以内の馬が 1～2 着を占めた例は 4 回

過去 14 回のうち 9 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は 4 回、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は 1 回ある。

■浦和所属馬は未連対

所属別の勝利数を見ると、浦和が 0 勝、船橋が 3 勝、大井が 8 勝、川崎が 3 勝となっている。浦和所属馬は第 6 回（平成 28 年）でビッグジャイアントが、第 9 回（令和元年）でトーセンボルガが、第 11 回（令和 3 年）でジョーロノが 3 着となったものの、2 着以内となった例はまだない。

■外国産馬は 2 勝、牝馬は 4 勝

外国産馬の優勝例は、第 5 回（平成 27 年）のルックスザットキル、第 6 回（平成 28 年）のエイシンヒートと、これまでに 2 例ある。また、牝馬の優勝例は、第 1 回（平成 23 年）のミヤサンキューティ、第 2 回（平成 24 年）のゴールドキャヴィア、第 3 回（平成 25 年）のハードデイズナイト、第 13 回（令和 5 年）のフジコチャンと、これまでに 4 例ある。

■ 騎手別の歴代最多勝記録は「2」

騎手別の勝利数を見ると、御神本訓史騎手、矢野貴之騎手が 2 勝でトップタイとなっている。

■ 調教師別の歴代最多勝記録も「2」

調教師別の勝利数を見ると、荒山勝徳調教師、藤田輝信調教師が 2 勝でトップタイとなっている。

■ どちらかと言えば内寄りの枠番が優勢

枠番別勝利数を見ると、3 枠と 4 枠（各 3 勝）がトップタイ。1 枠と 6 枠（各 2 勝）が 3 位タイとなっている。なお、未勝利の枠番はない。また、馬番別勝利数を見ると、5 番、8 番、11 番（各 2 勝）がトップタイとなっている。ちなみに、未勝利の馬番は 4 番、9 番、12 番、14 番、15 番である。

＜伊吹雅也＞